

議会 だより

つなぎ

September
9

6月第2回定例会 平成30年度補正予算などを審議

☆平成30年度一般会計 4,630万円の追加 P 2~3

☆一般質問 4人の議員が登壇 P 4~7

歳時記ショット・議会のうごき P 8



つなぎの議会だより

2018. 9

発行：熊本県津奈木町議会
編集：議会広報委員会

〒869-1569
0966-78-5351

熊本県豊北郡津奈木町小津奈木2123
印刷：旭印刷株式会社

歳時記 ショット



スムーズー
つなぎ百貨堂裏のテラスで、8月から土・日の午後限定で始まった、津奈木産の果物でつくるスムーズーのお店。10月末までの営業予定です。営業時間は、13時から19時です。皆さんのご来店をお待ちしています。

町村議会議長・副議長研修会

5月28日東京で開催された研修会に参加した。テーマは「これからの町村議会を考える」で、山梨学院大学法学部教授、江藤俊昭氏の講演があった。

研修の内容は、議員のなり手不足解消策として、「議員活動に対する報酬などの改定の考え方」と、「議会のあり方」として、現行議会のあり方を維持出来ることを前提に、集中専門型（少数の専門的議員で議会を構成し、生活給を保障する。）、多数参画型（多数の非専門的議員で議会を構成とし、夜間・休日を中心に議会運営を行う。）という2つの議会のあり方を条例で自由に選択可能にするということであった。

研修後の感想は、議員のなり手不足解消策は、住民と議会が共に考え、活動して、住民福祉向上を図り、住民から信頼される議会になることが大切であると思った。



議会の うごき

- 【6月】
 - 6日 議会運営委員会
 - 13日～15日 第2回議会定例会
- 【7月】
 - 9日 各委員長研修会
 - 18日 教育住民常任委員会
 - 19日 総務振興常任委員会
 - 21日 広域行政組合臨時議会
 - 25日・26日 水俣・芦北振興計画要望活動
- 【8月】
 - 6日 正副議長研修会
 - 22日 総務振興・教育住民合同常任委員会
- 【9月予定】
 - 4日 議会運営委員会
 - 11日～28日 第3回議会定例会
 - 14日 敬老会

議会広報委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 澤井 静代 |
| 副委員長 | 柳迫 好則 |
| 委員 | 久村 昌司 |
| 委員 | 上村 勝法 |

8月4日(土)の第34回夏まつりは、くまモン隊からたくさんの笑顔が届いたオープニングでした。
—表紙の写真—
今年の夏は例年より一段と猛暑日が続き、最高気温も11年ぶりに更新された。各地でも熱中症の症状を訴える人も多く、もはや一つの災害扱いされる状況である。一方、7月に西日本の広範囲を襲った豪雨では、甚大な被害をもたらし、政府も早急に特定非常災害に指定された。近年、世界各地でも異常気象の現象が起きており、本町において、いつ、どのような災害が起きてても可能な限り対処したい。
K・U

編集後記

平成30年 第2回定例会 補正予算 条例改正 人事案件を審議

平成30年第2回定例会が6月13日から15日までの会期で開かれました。平成30年度一般・特別会計補正予算をはじめ、平成29年度一般・特別会計補正予算などの専決処分の結果、条例の改正、固定資産評価員の選任同意など20議案が提出され、すべてを原案のとおり可決しました。

定例会初日の審議状況

質疑応答

平成29年度
一般会計補正予算(第6号)
の専決承認

寺本信介議員

問 町有施設整備基金に5千万円を積立ててあるが、どこかの施設を整備する予定があるのか。

答 町有施設整備基金に1億円取り崩し、5千万円を積み戻すものである。

問 文化センターが数年前から大規模改修が必要と言われていたが、改修計画はどうなっているのか。

答 文化センターについては、この基金を使い、来年度以降大規模改修

を行う予定である。

津奈木町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例制定の専決承認

林 賢二議員

問 新たな条例制定を専決処分とすることは、私も20年以上議員をやっているが初めてである。今後この様なことが2度とないよう、職員一同気を引き締めて職務にあたっていただきたい。

答 今後この様なことが2度とないよう、職員一同気を引き締めて職務にあたっていただきたい。

平成30年度
一般会計補正予算(第2号)

上村勝法議員

問 財産管理費の平国農村公園整備工事とあ

るが、工事内容の説明を求

答 平国コミュニティセンターの隣の土地が荒れており、今後、維持管理しやすくするため、グランドゴルフなどでも利用できるよう要望があったので、土砂などを入れかえて整地を行なう予定である。

問 商工費で温泉センターの施設改修工事とあるが、工事内容の説明を求める。

村上義廣議員

答 工事内容として、トンネル内の漏水管箇所の補修、展望露天風呂の補修、トンネル右奥のメンテナンス用扉の補修、そして、神社側の外柵の補強この4ヶ所である。

問 教育費の学校管理費で、中学校グラウンド防球ネット設置工事とあ

るが、野球大会以外に、利用する計画はあるのか。

答 中学校で野球の練習をしたいと学校側からも要望が出ており、設置する。

るが、野球大会以外に、利用する計画はあるのか。

答 中学校で野球の練習をしたいと学校側からも要望が出ており、設置する。

村上義廣議員

問 生徒が野球練習を学校グラウンドを使用するのであれば、今後、ナイター設備を考えているのか。

答 中学校がグラウンドで練習するのは夏休み期間中で、日が明るいうちの練習である。

上村勝法議員

問 防災費で、地域防災組織育成事業補助金とあるが、事業内容と、今後、他の地区でも受けられるのか。

答 本補助金は、コミュニティ助成事業助成金で賄われており、申請に対し、100%補助で、今回、浜崎地区自主防災委員

会が放送設備と、発電機を公民館に整備したいということで申請があった。今後、他の地区も、防災組織などへの助成は申請すれば、受けられる可能性があると思う。

久村昌司議員

問 平国運動公園環境整備委託料285万3千円の内容は、

答 旧平国小学校の県道側斜面の伐採である。

問 数年前にも伐採したと思うが、

答 平成23年に一度伐採を行ったが、7年が経過し木が大きく成長している。

橋口知恵子議員

問 伐採を行うと崩壊の恐れなどあると思うが、のり面工事などは考えていないのか。

答 今後検討していきたい。

久村昌司議員

問 平国・福浦第4水源井戸洗浄工事の内容は、

答 この井戸は過去に数回の濁水で取水停止を行っており、平成31年度に整備する統合計画に向け、洗浄後の湧水能力を把握する工事である。

問 湧水量が回復する可能性はあるのか。

答 以前は自噴していた実績があるので、湧水量が増えるのではないかと、期待をしている。

平成30年度補正予算の主な事業

事業名	予算額	事業内容
平国農村公園整地工事	5,365千円	平国農村公園の利用促進を図るための整地工事
施設用備品購入費	2,865千円	役場1階住民課住民班の窓口カウンターの利便性を考慮し、ローカウンターへ変更
敬老祝金	720千円	敬老祝金の経過措置として80歳の対象者分を追加
温泉センター施設改修工事	3,080千円	温泉センターの渡り廊下雨漏り補修や露天風呂腐食部分の取り換え工事
退職消防団員消防功労金	1,200千円	20年以上勤続して退職した団員へ功労金の支給
地域防災組織育成事業補助金	2,000千円	浜崎地区自主防災組織へのコミュニティ助成事業の地域防災育成事業の決定を受けての補助金
グラウンド防球ネット等設置工事	4,654千円	町民体育祭野球大会の会場として、中学校グラウンドを使用するため防球ネットやマウンドの設置工事



町民体育祭ソフトボール大会はなぜ、取りやめたのか

柳迫 好則 議員

ホテル裸島のその後

問 ホテル裸島プロジェクトが終って、約半年過ぎた。

そこで、当初の目的であった現代アーティストの西野達氏のネームバリューで津奈木町の名前が売れ、定住促進に繋がっていただけと言っていたが、終わった後の反響はあったのか。



懐かしのホテル裸島

答 西野達氏の展覧会は終了したが、住人との共同により世界を舞台に活躍する西野氏の展覧会を開催したことで、津奈木町の名前は昭和59年からの緑と彫刻のある町づくりの歴史とともに、多くの人々に知られるようになり、美術館職員が都市部の出張先などで、ホテル裸島に関する質問を受けたり、町のこれまでの取り組みに関する説明を求められる機会が増えている。

先日、熊本市内の大学生から、津奈木町の取り組みに関する講義の要請があり、関西の美術系大学からインターンシップの受け入れの相談も受けている。7月に九州大学が刊行する書籍には、ホテル裸島の写真とともに津奈木町のアートによる町づくりに関するエッセイが掲載されることになっている。

町民体育祭・ソフトボール大会は、なぜ取り止めになったのか

問 今年5月から、ソフトボールが取り止めになった。ソフトボール大会を楽しみにしていた人たちにとって、残念なことではないかと思う。なぜ、ソフトボールを取りやめたのか。

答 本町における地域人口の減少による大会参加者の確保が厳しくなっている。また、高齢化も加わり、選手として参加できる絶対数が地区によって厳しい状況のところもある。また、個人からも以前から町民体育祭の大会運営方法全般について、協議してほしい旨の要望が出ており、平成29年度に今後のありかた全般について協議を



男女混合ミニバレーボール大会

行うための資料として、競技種目ごとのアンケートを実施したところである。ソフトボールと野球は同じ球技種目で似ているため、どちらか一つに絞って欲しいとの意見、また5段階の選択回答項目の中でやめてほしいとの意見が多く、体育協会理事会において慎重審議を行なった結果中止を決定した。

津奈木保育園の民営化はどうなるのか

問 津奈木保育園を民営化にするメリット、デメリットはなにか。

答 メリットは、延長保育・一時預かり保育などの対応、行政の予算制度の制限がなくなり、要望や意見などへの対応ができる。交付金で施設整備ができ、正規職員化が望める。デメリットは、保育環境の変化による子供や保護者の負担、不安がある。園の行事の変更、教材費の負担が増加すると思われる。

問 財政上のコスト削減のみが、民営化のメリットではないのか。

答 現状では、財政の支出に変わりはない。

民営化にしなければならぬ理由は。

問 保護者からは津奈木保育園の存続の要望が強い。存続させる方法はないのか。

答 町の出生数の減少で、募集して保育していくことは、効率面と経済面で2つとも成り立たなくなる。町に保育園はなくならず、預ける場所が違うということ、民間にした方が津奈木町にはメリットがある。浮いた経費は子育てに使いたい。難しい問題に発展しているが、プロというか、民間でできる場所は任せよう。町民と考えるの違いはあるが、1つにまとめて、私立的のいい前向きな教育をしてもらったほうがよいと思うので民営化を検討したい。

問 幼稚園と津奈木保育園をあわせて認定こども園にする考えはないのか。

町の防災対策は万全といえるのか

問 庁舎の自家発電装置は、庁舎よりも低いところにあり、浸水すれば修理と費用も掛かる。浸水予防に高台に移動が必要ではないか。

答 役場庁舎屋上強度不足で設置を断念し、高台への設置は費用や維持費が高額となり行っていない。今後は、教育委員会及び文化センターに、自家発電装置の設置をする予定である。

問 大規模災害時、自治機能を業務継続計画（BCP）に、非常時優先業務の整理など「重要6要素」の策定状況が発表された。本町は、重要6要素のうち4つの要素が規定できていない。役場の代替え庁舎の指定はどこにするのか。重要6要素の規定はいつ終わるのか。

答 県が行ったアンケートで、重要5要素は決定していたが町の地域防災計画などに明記していなかったため未策定となり、市町村の担当者に回答の温度差があったようだ。役場の代替え庁舎としては、教育委員会、文化センターとしている。今年度中に策定していく。

その他、「四季彩前の外観整備が必要では」の質問があった。

津奈木保育園を民営化する理由は

橋口 知恵子 議員





森林伐採後の土砂災害対策はなるのか

久村 昌司 議員

森林伐採後の町の対応は

問 町道古中尾線沿いの山林で、去年伐採された場所があるが、5月の大雨で2カ所の土砂崩壊箇所が確認された。1カ所は下に民家があるため、今後の梅雨の状況次第では土砂災害が懸念されるが、町はどう考えているのか。

答 該当山林は平成27年の台風15号により被害を受けた山林で、平成29年2月28日に環境林整備事業、被害森林整備の実施に関する協定を、町・所有者・森林組合の3者で締結し、平成30年の2月から11月まで伐採が行われ、その後植林を行っている。
現状は作業道の路肩部分の一部崩壊している状況で、治山事業での検討をしたが現時点で保安林の指定を受けていないため実施は

難しい。
対応については、協定期間が平成39年までであるため、崩壊箇所にも木柵などの応急措置などを森林組合へ要請をしている。

問 協定の内容は。

答 津奈木町を甲、所有者を乙、森林組合を丙とし、熊本県森林環境保全整備事業実施要領に基づき締結をしている。契約書の中に災害などによる損害についての条項があり、内容は、事業実施中および完了後、火災、天災、その他降雨など予想し得ない理由により第3者に生じた損害は甲および丙は責任を負わないと記載されており、災害が発生した場合所有者に責任が発生すると考えている。



伐採後に崩壊した山林

問 雨が多く降った時など伐採箇所の下部の民家の横へ、水が非常に多く流れ出てきて既存の側溝では吐ききれない状況である。

答 この状況を改善するため、大きめのU字溝の布設替などできないのか。
答 大雨により側溝が溢れたりする状況が町内各地区で見受けられる。部分的に改良を行っても大きな改善は見られない

と思う。また、全体を改修するには多額の費用が発生するので厳しい部分がある。
しかし、改善が必要な箇所については現場の状況を総合的に判断し、対処をしてきたい。

問 防災の観点からみてどう思っているのか。

答 防災マップを見ると伐採箇所は土砂災害危険区域に指定されている。町内には危険区域に指定されている箇所がたくさんある。今後は対象となる箇所にお住いの世帯には、行政より予防的避難の重要性をお知らせするとともに、豪雨の際の早めの自主避難等のお願いをしていきたい。

空き家対策の現状は

問 前回の空き家調査での空き家総数が159戸のうち、所有者が確認できたのが108戸との説明だった。その時点で確認できなかった51戸について、現在はどうなっているのか。

答 平成27年に実施した空き家調査の結果、所有者が特定できなかった108戸については、アンケートを送付。
残りの51戸は、さらに精査を行い、その結果、所有者が確認できない空き家はなく、ゼロ件である。

に深刻な影響を及ぼしている場合の取り組みについて伺いたい。

答 国は、平成27年度に空き家対策特別措置法を施行している。これにより、本町では、平成28年3月に津奈木町空き家等の適正管理に関する条例が制定され、職員による巡回や住民からの情報により、特定空き家などに該当する空き家の所有者に対して、調査などを行った上で改善していただくよう、公文書で通知をしている。

どうする つなぎ百貨堂

問 今回リニューアルし、つなぎ百貨堂として動き出したが、売り上げを伸ばすための今後の取り組みを伺いたい。



リニューアルしたつなぎ百貨堂の店内

答 今回のリニューアルのコンセプトは、「津奈木の旬を送るセレクトショップ」としている。今後の取り組みは、①地元特産品を中心とした商品をセレクトして、地域色を強くアピールし、オリジナル性の高い商品や過去に開発した特産品などについて、つなぎ百貨堂のオリジナルロゴマークを付け、希少価値と認知度を高めていく。②新しくできた百貨堂裏のテラスを利用し、ソフ

その他、「防災の取り組みについて」の質問があった。

”つなぎ百貨堂”の今後の取り組みは

澤井 静代 議員



問 空き家対策については、重要課題であり、今後も丁寧な取り組みの継続をお願いしたいが、現在の空き家において適切な管理が行われず、地域住民の生活環境